

辻小だより

令和8年9月30日
さいたま市立辻小学校
第7号

学校ホームページはこちらから！



地域の宝を地域とともに育てる

朝夕の暑さも和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。10月は学校生活の折り返しの時期です。子どもたちには、4月から積み重ねてきた学習や生活を振り返り自らの成長を実感するとともに、新たな目標に向かって歩みを進めてほしいと思います。

「実りの秋」と言われるように、これまでの努力が形となって表れる季節でもあります。勉強や運動、友だちとの関わりなど、一人ひとりが自分の頑張りや成長に気づき、自信につなげてほしいと願っています。学校でも子どもたちの小さな成長を大切に見取りながら、一人ひとりを支えてまいります。

さて、子どもたちの成長は、決して学校だけで実現できるものではありません。本校の子どもたちは、交通指導員や旗振り当番の皆様、図書ボランティア「本のたねまき」の皆様、防犯ボランティアの皆様をはじめ、多くの地域の方々に見守られながら学校生活を送っています。また、毎日子どもたちを温かく支え、学校へ送り出してくださる保護者の皆様の存在も欠かせません。改めて深く感謝申し上げます。

2学期には、昔遊び体験や町探検、福祉体験、防災教室など、地域の教育力を生かした学習が数多く予定されています。地域の方々との関わりは、教科書だけでは学ぶことのできない知恵や経験、人とのつながりの大切さを子どもたちに教えてくれます。

また、本地区では、自治会や育成会、PTA等が中心となって様々な行事が開催されています。辻自治会合同大運動会や辻社協ウォークラリー大会、辻小フェスタなどは、学校・家庭・地域がつながり、子どもたちを地域全体で育てる大切な場となっています。私は、こうした機会にぜひ多くの子どもたちに参加してほしいと願っています。地域の方々との触れ合いを通して、自分も地域の一員であることを実感し、人とのつながりや地域への愛着を深めてほしいからです。

今年度の全国学力・学習状況調査では、「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」と考えている本校児童の割合が、全国や県の平均を大きく上回りました。地域の皆様に支えられながら育った子どもたちが、「今度は自分も地域のために力になりたい」と考えていることを大変うれしく感じています。

現代の学校教育は、教職員だけの力で成り立つものではありません。学校・家庭・地域が手を取り合い、地域の宝である子どもたちを育てていくことが何より大切です。私たち教職員も、地域に支えられるだけでなく、ともに歩む学校づくりに努めてまいります。子どもたちが多くの人とのつながりの中で育ち、やがて地域を支える担い手となることが私たちの願いです。その成長を地域とともに支えながら、そんな学校であり続けたいと思います。